

やまびこ

やまびこネットワーク情報誌 VOL. 92

発行日 平成 30 年(2018 年) 3 月 28 日

編集 地域づくりネットワーク長野県協議会事務局
(長野県企画振興部地域振興課地域企画係内)

電話 026-235-7023(内線 3796)

FAX 026-235-7397

Mail chiiki@pref.nagano.lg.jp

URL <http://ynet.happygate.co.jp/>



『地域づくりサミット^仮』を開催しました。

平成 30 年 2 月 12 日(月)に「地域づくりサミット^仮」を「つどい、つながり、みつかる ながの」をテーマに、長野市で開催しました。その様子をご紹介します。

午後 1 時半からの開会式では、当協議会の酒井会長が、企画運営から開催に至るまでの経緯や主旨、また当協議会の紹介及び会員募集等について述べました。



その後、「ながののなごみ」としてアイスブレイクを行いました。

アイスブレイクでは、出身、年代、参加目的などを楽しみながら紹介しあいました。参加者に出身を問う質問に対しては、会場を日本地図に見立てて移動したり、司会者の軽妙なトークに、初対面同士の参加者も多い中、緊張もほぐれ、なごやかな雰囲気の中サミットは進行していききました。

地域づくりサミットの「仮」について

従来の地域づくりという枠にとらわれることなく、新たな長野県の地域づくりの未来を模索するため、本サミットを仮の段階として位置付けました。

第 1 部「ながののまなび」のプレゼンでは、15 組のゲストスピーカーが 5 グループに分

かれ、それぞれの日頃の活動や今後の展望について 15 分程度の発表をおこないました。その後、トークセッション及び一般参加者からの質疑応答を行いました。

各テーマにおける主な内容は以下のとおりです。

●テーマ A 「人の集まる場づくり」

時間や手間をかけたものには人が寄ってくるが、一方で成果が見えにくく行政の理解が得られにくいことや、地域づくり活動を長く続けるためには、やっている内容を分かりやすく伝えることが必要。

●テーマ B 「イベント仕掛人」

イベントの告知には、関係者にはフェイスブックや口コミ。東京では Peatix が効果的であることや、自治会の回覧板などで、地域の皆さんにもイベントを知っていただくことが必要。



●テーマC「地域の個性を活かす」

役割で分けるのではなく、個人のつながりが財産であり、否定的な意見に対して、排除するのではなく、話をどう持っていくか考えることが必要。また、想いを発信し続けることで、共感し拡散してくれる人が増える。



●テーマD「森と農」

生産物のブランド化においては、「個の自立」と「共同体」の両方が必要で、まずは「個」としての発信力、個のブランドの確立をしっかりとすることが大切である。



●テーマE「アウトドアアクティビティ」

開催するアウトドアのイベントを、商工会や旅館のニーズとマッチングさせることに課題があり、PRやリサーチが必要。また、近年増加している海外からの観光客に向けて地域にあるアウトドアアクティビティの情報発信の強化が必要。

つづく、第2部「ながののよりあい」においては、「なぜ若者はながのに帰ってこない?」「長野県(地方)にあって、他の場所にはないもの」「大切なひとに伝えたい・見せたいながののあれこれ」「つなげたい、ながのの文化・個性」「地方は本当に活性化するのか?いずれ来る本当の限界集落を考える」の5つのテーマに分かれ議論を行いました。



第3部「ながののうたげ」は長野市内の飲食店に会場を移して行いました。約60名の参加者は、同じ地域づくりに携わる者同士、住む場所や取り組む分野は違うものの、日頃の活動について語り合い親睦を深めていました。



地域づくりサミット®は、当協議会会員、地域おこし協力隊のOB・OG等からなるメンバーでプロジェクトチームを立ち上げ、企画運営を行ってきました。また、参加者の募集もFacebook やホームページを中心に行い、チラシは大々的に印刷をせずに参加者を募りましたが、当初予定の100名を上回る参加者があり、半数近くが10代から30代の若い方にご参加いただきました。また、長野市という県内の北寄りの場所での開催ではありましたが、県内各地から広く参加者が集まり、ゲストスピーカーと参加者、またはそれぞれ同士がテーマにあるように集い、新たな出会いが見つかるイベントとすることができ、ゲストスピーカーや参加者から好評を得ることができました。さらに、イベントを通じ参加者に地域づくりネッ

トワーク長野県協議会の活動紹介と加入を呼びかけることができました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



【地域づくりサミット(仮)参加者の皆さんによる集合記念写真】

平成 29 年度第 2 回幹事会開催

3月23日に松本合同庁舎で「平成29年度地域づくりネットワーク長野県協議会第2回幹事会」を開催しました。会議事項は以下のとおりです。

●平成29年度事業報告書(案)及び決算見込みについて

原案のとおり了承されました。

(後日、監査を受けた後、幹事による書面表決を行います。)

●平成30年度事業計画書(案)及び予算書(案)について

原案のとおり承認されました。

●地域づくりフォーラム・アワード(仮称)事業について

事業内容の共有とともに、当協議会の関わりについて意見交換しました。

●役員改選について

次期会長に酒井哲夫現会長(長野支部)が再任され、副会長、監事2名については、規約に基づき酒井会長が選任しました。平成30・31年度の役員は以下のとおりです。

会 長：酒井 哲夫(長野支部)

副会長：竹内 充(上田支部)

監 事：朝倉 清(諏訪支部)、佐藤 文生(北アルプス支部)



詳しくは、後日送付します関連資料をご覧ください。

●事務局からのお知らせ●

(一財)地域活性化センター賛助会員へ入会されるみなさまへ

(一財)地域活性化センター賛助会員へ入会される会員の皆さまに、地域づくり団体全国協議会事務局から平成30年3月12日付けで「(一財)地域活性化センター賛助会員における平成30年度年会費の請求について(通知)」が郵送されていることと思います。つきましては、内容をご確認いただきご対応をお願いいたします。

なお、長野県協議会事務局へ「賛助会員へ入会する」と回答したにも関わらず請求書が届いていない会員の皆様におかれましては、大変お手数ではございますが、長野県協議会事務局までご連絡ください。

全国協議会加入済みで「登録団体情報調査及び(一財)地域活性化センター賛助会員への入会意思の確認について(平成29年8月24日付け)」をご提出いただいておられない会員の皆さまにつきましては、平成30年3月31日をもって地域づくり団体全国協議会退会となりますのでご承知おきください。

●支部からの活動報告●

【上田支部】 SNS を活用した地域づくり情報発信講座

平成30年3月10日(日)、SNSを活用しての地域づくり情報発信について学ぶ講座を、「まちなかキャンパスうえだ」で開催、地域づくりネットワーク会員をはじめ、自身の職場や団体で情報発信に取り組んでいる約10名が市内外から参加しました。

講師には、まちなかキャンパスうえだや信州大学等で情報発信講座の実績がある、株式会社ハムラの吉田達矢氏をお招きし、民間企業で培ったノウハウや経験から、ネットでの情報発信について実践的な内容をお話いただきました。

広報と宣伝と広告の違い、SNSがどのような範囲の人に向けた情報発信ツールなのか、といったネットでの情報発信で知っておくべき知識に加え、写真の撮り方や更新頻度といったすぐに使えるテクニック等に至るまで、短い時間の中に濃密な内容が詰まっており、うなずきながら熱心にメモを取る参加者の様子が見られました。

講座が終わった後も会場に残り、講師に質問を投げかける参加者がいたほか、すぐにでも実践できそうとの感想が寄せられるなど、これからSNSを活用していきたい方々のやる気につながる時間になったと思います。今後も、地域づくり活動のヒントが得られるような機会を設けていきたいと思っております。(上田支部事務局)



【上伊那支部】 い〜な 上伊那 地域づくりフォーラム

平成29年10月28日に、「い〜な 上伊那 地域づくりフォーラム」を開催し、平成28年度「地域発 元気づくり支援金」事業の優良事例の表彰と、平成30年3月に駒ヶ根市に本部事務所を移転する公益社団法人 青年海外協力協会(JOCA)の地域づくりの考え方を理解するために、JOCA中国支部所属の有泉仁美氏による事例発表などを行いました。

フォーラムの前半では、平成28年度「地域発 元気づくり支援金」事業の優良事例として、飯島町米俵マラソン実行委員会の「米俵で飯島町を元気に!!」など計4団体を表彰し、各団体の活動内容に係る発表により、地域住民主導による地域活性化を図る意欲の向上につながりました。

後半では、有泉氏が青年海外協力隊として海外に派遣された際の経験談や、海外での経験を生かし、中心市街地の活性化を図った石川県輪島市の輪島KABULET(輪島カブーレ)というプロジェクトの活動内容に係る発表により、地域外に住む住人の視点や若い力を生かした地域づくりを推進する契機となりました。(上伊那支部事務局)



【木曽支部】 地域発元気づくり支援金 事例発表会 他

地域づくりネットワーク長野県協議会木曽支部では、平成29年11月29日(水)に木曽合同庁舎講堂で平成28年度地域発 元気づくり支援金木曽地域事例発表会と、CAMPFIRE(キャンプファイヤー)長野県エリアパートナーの高岡昌寛さんによるクラウドファンディング制度についての講演会を開催しました。

事例発表会では、優良事例として3団体に活動内容の紹介をしていただきました。噴火災害からの観光面での復興活動、特産品等のPRによる地域活性化になった取組や、それらにかける「想い」を語っていただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、講演会では、地域づくりネットワーク会員をはじめ、元気づくり支援金の活用団体や地域おこし協力隊等の共通の課題である活動資金の確保や宣伝広告について、クラウドファンディングの活用事例やメリット・デメリットなどを説明いただきました。

全体で約60名の方にご参加いただき、これからの地域づくりの参考になる有意義な会となりました。



また、平成30年3月2日(金)には、「満蒙開拓」の歴史を伝える「満蒙開拓平和記念館(下伊那郡阿智村)」への視察研修を行いました。

本研修には、小学3年生の時に読書村(現南木曾町)から「読書開拓団」として満州へ渡った経験をお持ちの可児 力一郎(かに りきいちろう)氏に講師としてご同行いただきました。国策として行われた満蒙開拓とはいったい何だったのか、当時の時代背景から現地での生活、敗戦に伴う壮絶な体験まで、写真や映像等の資料を基にご説明いただき、今まであまり知られてこなかった日本の負の歴史について学び、改めて戦争と平和について考える機会となりました。

とりわけ、長野県から満州に渡った開拓団・青少年義勇軍が全国で一番多かったこと、そして結果的にその多くの命が失われることになったことに、同じ地域に住む者として深く考えさせられるものがありました。

参加者からは活発に質問や感想が出され、可児さんや施設案内の方とも意見を交わし、それぞれにとって大変有意義な研修となりました。(木曾支部事務局)



【松本支部】地域づくり活動のための勉強会

松本支部では、平成30年1月28日(日)に塩尻市えんぱーくにおいて「クラウドファンディングってなんだろう？」と題して、地域づくり活動のための勉強会を開催しました。

勉強会は、支部会員のほか、地域づくりに興味のある一般の方々にも公開し、市村の地域おこし協力隊員を含め、総勢10名が参加し、有意義な時間を共有しました。

前半は、実際に活動資金確保のためにクラウドファンディングを利用した方2名を講師に迎え、クラウドファンディングを利用したきっかけから始まり、手続き、メリット、利用する際に工夫した点や留意すべき点などについて、実例をもとにわかりやすく発表していただきました。参加者も活動内容は異なるものの、地域づくり活動の実践者として、同じ目線に立った方からの話を、自身の活動にどう活かしていくか具体的にイメージしながら熱心に聞き入っていました。

後半は、全参加者が日ごろの地域づくり活動で感じていることや困っていることなどについて意見交換をし、今後の地域づくり活動について立場を越えて考える機会となりました。(松本支部事務局)



【北アルプス支部】まち歩き視察研修会

北アルプス支部では平成29年8月29日(火)に、会員相互の交流を深めるとともに、それぞれの活動に役立てるため、小谷村で“まち歩き視察研修会”を開催し、支部会員を含めて10名が参加しました。

今年度は、例年行っていた講演形式とは少し趣向を変えて、地域の特色や魅力を活かした取組を“まち歩き”を通して学びました。

当日は、砂防施設が多い小谷村の特徴を上手く観光につなげた取組で、最近じわじわと人気が出ている“土木アート砂防ダム巡りツアー”(小谷村観光連盟主催)を体験。当初「砂防施設=観光資源?」と感じていた会員からも、最後には「砂防施設って面白い! 当たり前にあるものでも活用方法は様々」との声をいただき、大変好評でした。

またこの他に、古民家を改装したゲストハウスで、映画のロケ地にもなった“梢乃(こずえの)雪(ゆき)”や小谷村ならではの自然体験プログラムを提供しているおたり自然学校の自然体験施設“石坂森林探検村”を見学しました。いずれも地域に元々ある資源に更に磨きをかけ、活用している施設で、「この地域にこんな資源があるなんて知らなかった…」と口にする会員も多く、新たな地域の魅力発見につながりました。

移動中には会員の活動の情報共有が行われたほか、ガイドから小谷村の成り立ちや現状と課題等についてもご説明いただき、地域を新たな視点で見つめ直す貴重な一日となりました。(北アルプス支部事務局)



【長野支部】地域発 元気づくり支援金活用事例発表会

平成29年12月20日、長野合同庁舎において長野地域振興局と当支部の共催により地域発元気づくり支援金活用事例発表会を開催しました。平成28年度に元気づくり支援金を活用した66事業の中から、着眼点や波及効果が特に優れ、今後の地域づくりの模範となる優良事例3事業を表彰し、併せて表彰団体より取組内容を発表していただきました。

後半の部では、当支部会員のNPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会の香山理事長より「地域資源を活かしたまちづくりと、まちのにぎわい創出」と題し、講演会を行いました。

香山氏は「発足当時より、潜在していた地域の歴史的文化遺産は、「まるごと博物館」に値すると考え地元住民と協働で活動を行ってきた、最初は消極的だった住民も「松代は素晴らしい町だ」と誇りと自信を持つようになった。次世代により良い環境を伝えていける



よう今後も住んで暮らし易く、訪れて心癒えるまちづくりに取り組んでいきたい」と語られておりました。
(長野支部事務局)

【北信支部】地域発 元気づくり支援金活用事例発表会

平成29年12月5日(火)、北信合同庁舎講堂において、北信地域振興局と当支部の共催により平成29年度地域発元気づくり支援金活用事例発表会を開催しました。

平成28年度地域発元気づくり支援金事業を活用した団体の中から、事業効果に広がりが見られるなど評価の高い事業を実施した団体を選定し、知事表彰1団体、北信地域振興局長表彰3団体を表彰し、その取組を発表していただきました。

このほか、今年は、特別講演として、北原区ふるさと暮らし支援委員会の出澤事務局長を講師に迎え、「明日を育てる地域活動の手法とは」と題して講演いただきました。

事例発表後、支部会員で集まり活動報告を行い、昨年につき、「フットワーク軽く、ネットワークをつくり、パッチワークのように」繋がって活動していくために、具体的な支部活動をしているということで、平成30年度に行う企画について話し合いました。(北信支部事務局)



会員情報に変更のある場合は各支部事務局までご連絡ください

団体名や代表者の氏名、住所、メールアドレス、電話番号などに変更のある場合は、各支部事務局までご連絡ください。ご連絡のない場合は、長野県協議会や全国協議会からのお知らせ等が届かなくなる場合がありますのでご注意ください。皆さまのご協力をお願いいたします。

佐久支部 ☎0267-63-3132

上田支部 ☎0268-25-7112

諏訪支部 ☎0266-57-2901

上伊那支部 ☎0265-76-6801

南信州支部 ☎0265-53-0401

木曾支部 ☎0264-25-2212

松本支部 ☎0263-40-1902

北アルプス支部 ☎0261-23-6501

長野支部 ☎026-234-9501

北信支部 ☎0269-23-0201